



笹小だより



⑩ 令和6年9月6日

伊丹市立笹原小学校

データからみえる子どもたち ～健やかに育み続けるために～

—令和6年度 全国学力・学習状況調査結果から—

6年生を対象に、4月18日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。新聞報道等でご覧になった方もおられることと思います。今年度は、「国語」・「算数」・「児童質問紙」が調査され、児童質問紙については、タブレット端末を活用したオンラインで行われました。

全国的な傾向としては、国語では、資料を基に設問の条件に合わせた内容を書くことに課題が見られ、算数では、体積や速さといった知識の習得を問う問題に課題が見られたことが挙げられています。また、課題解決学習に積極的で、まとめや発表で週3回以上 ICT を活用している児童は、そうでない児童より教科の正答率が高い傾向が見られるということも示されました。

本校にも、児童の調査結果が届きましたので、その概要と感じていることをお知らせいたします。

あくまで、本調査からわかることは、学力や学習状況の一部であり、学校における教育活動の一側面です。客観的な指標として適切に分析しながら、目の前にいてくれる子どもたちの姿を大切に、健やかに育ててまいりたいと考えています。



学力調査(国語・算数)から



調査対象となっていた本校児童の正答率は、「国語」・「算数」とも全国平均正答率を上回っておりました。各教科の主な状況をお知らせします。

【国語】

- ・目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討したり、話し言葉と書き言葉との違いに気づいたりすることが概ねできている。
- ・物語における人物像を具体的に想像したり、登場人物の関係や心情について、描写から読み取ったりすることが概ねできている。
- ・文章の中で、適切に漢字を使うことに課題がある。
- ・資料活用なども含めて、自分の考えが伝わるよう表現を工夫することに課題がある。

【算数】

- ・数量関係を捉え、式に表すことが概ねできている。
- ・基礎的な図形の構成については、概ね理解している。
- ・基礎的な計算やグラフの読み取りができている。
- ・複数の図形が組み合わさった場合に、必要な情報を捉え、体積を求めることに課題がある。
- ・表やグラフ等から必要なデータを取り出して分類整理したり、条件にあてはめて記述したりすることに課題がある。

いずれの教科も、記述式問題の平均正答率が全国平均を上回っており、書く力が伸びてきつつあることや粘り強く取り組む姿勢の表れで、成果の一つとして感じています。

学習状況調査から

本校は、人的環境・教室環境・授業の3つのユニバーサルデザイン化を柱にした「教育のユニバーサルデザイン」を目指しています。そこで、家庭や地域とつながりながら、子どもたちを育てていく上で、特に重要だと考える項目について、全国の結果とともにお知らせいたします。（単位：％ 左：本校児童 右：全国平均 ）

質 問 項 目	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない
朝食を毎日食べている	73.6 83.4	17.1 10.3	6.2 4.6	3.1 1.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	35.7 39.7	44.2 43.2	17.8 14.3	2.3 2.8
毎日、同じくらいの時刻に起きている	59.7 56.1	28.7 35.5	10.9 7.1	0.8 1.3
自分には、よいところがあると思う	45.0 43.4	39.5 40.7	10.1 10.5	5.4 5.4
先生は、よいところを認めてくれている	58.1 48.8	35.7 41.1	4.7 7.3	1.6 2.7
将来の夢や目標をもっている	64.3 60.6	18.6 21.8	11.6 9.8	5.4 7.7
人が困っているとき、進んで助けている	51.9 46.0	38.0 46.7	7.8 6.2	1.6 1.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	76.0 79.5	19.4 17.2	3.9 2.5	0.8 0.8
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	27.9 30.2	34.1 36.9	25.6 22.2	12.4 10.6
人の役に立つ人間になりたいと思う	76.7 71.1	17.8 24.8	4.7 2.9	0.8 1.1
学校に行くのは楽しい	48.8 47.2	35.7 37.6	11.6 10.2	3.9 5.0
自分と違う意見について考えるのは楽しい	23.3 30.3	51.2 45.5	19.4 18.6	6.2 5.5
友達関係に満足している	58.1 62.4	24.8 28.7	14.7 6.7	2.3 2.2
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがどれくらいあるか	52.7 50.8	40.3 40.9	7.0 7.4	0.0 1.0
分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができる	30.2 30.3	42.6 50.4	20.9 16.2	6.2 3.1
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	27.1 31.9	52.7 48.9	17.1 16.0	3.1 3.1
地域や社会をよくするために何かしてみたい	39.5 36.8	46.5 46.7	10.9 12.9	3.1 3.5
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見いだしたりすることがある	38.0 49.2	31.0 34.0	21.7 12.4	9.3 4.3
英語の勉強は好き	50.4 38.2	30.2 31.1	10.9 17.9	8.5 12.7

質 問 項 目	4 h～	3～4 h	2～3 h	1～2 h	1 hまで	なし
普段（月～金）1日当たりのゲーム時間	23.3	16.3	11.6	18.6	20.2	10.1
	4 h～	3～4 h	2～3 h	1～2 h	0.5～1 h	0.5hまで
普段（月～金）1日当たりの動画視聴時間	15.5	10.9	10.9	15.5	13.2	14.0
	3 h～	2～3 h	1～2 h	0.5～1	0.5まで	0
普段（月～金）の学校外での学習時間	14.7	10.1	30.2	24.8	11.6	8.5
	4 h～	3～4 h	2～3 h	1～2 h	1 hまで	0
休日（土日等）の学習時間	13.2	4.7	3.1	19.4	41.1	18.6

ゲーム、動画視聴時間は、全国平均と比べ、使用時間の多さが気になります。子どもたちの自己有用感を高めることが、成長の源であると考え、「褒めて励ます」そして「必要に応じた働きかけをすること」を大切にしています。上記データも参考にしながら、健全育成にともに努めてまいりましょう。